

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-10																																							
PDCA	主要事業名	小学校情報機器整備事業 中学校情報機器整備事業	部課名	学校教育課	担当 内線	山下 520																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 267,404 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.02.02.02.51及び09.03.02.02.51																																													
	事業概要等	事業概要： 国のGIGAスクール構想に基づき、ICT教育に係る環境整備を進める。																																												
		事業目的： 個別最適化され、創造性を育む教育を実現するため。																																												
		事業内容： タブレット端末、電子黒板、学習支援等ソフトウェア、ICT支援員等の整備。																																												
		問題点・課題等： タブレット端末等の活用が進まない学校や、デジタル機器等の利用に不慣れな教員へのサポートなど。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	267,404 千円	国のGIGAスクール構想に基づき、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現するため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 264,831 千円	ICT環境を整備することにより、個別最適な学びと協働的な学びの実現につながる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合</td> <td>実績値</td> <td>39.3</td> <td>38.1</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合	実績値	39.3	38.1	—	%	目標値	50.0	50.0	50.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合	実績値	39.3	38.1	—	%																																								
		目標値	50.0	50.0	50.0	%																																								
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 2,573 千円																																														
その他 0 千円																																														
D 実績値と得られた成果	決算額	得られた成果																																												
	256,811 千円	ヘルプデスクの設置やICT支援員等によるバックアップ体制を構築するとともに、教職員への研修会やICT活用公開授業等を実施したことにより、タブレット端末等の授業への利活用が進んだ。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合</td> <td>実績値</td> <td>51.1</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合	実績値	51.1	%	目標値	50.0	%																													
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	毎日タブレット端末を利活用した児童生徒の割合	実績値	51.1	%																																										
		目標値	50.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校における情報機器や通信ネットワーク環境の整備・運用、学習支援ソフトの配備等を適切に進めることができた。また、現職教員によるICT未来創造協議会等で教育DXの推進について議論を進めたことにより、より充実した学習環境を構築することができた。																																												
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 引き続きICT教育に係る環境整備を進めるとともに、児童生徒のタブレット端末のさらなる利用促進を図る。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある																																											

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用